

3年目フォローアップ研修

「行政官の在り方」(レジメ)

内閣府

浜野潤

3 海外体験

- ・ 前任者のいない場所(先進国でも低開発国でもない不思議な国)
- ・ 欧米・中東・アジア各国を調査訪問
- ・ 外から自分の国を眺める

1 はじめに。なぜ国家公務員になったか。

- ・ 高い理想をもって役人になったわけではない。
- ・ なぜ経済企画庁を選んだのか。

4 出向体験

- ・ 最初の出向(内閣官房内閣審議室)
- ・ 武者修行(大蔵省主計局)
- ・ 異文化との出会い
(国土庁計画・調整局計画課長)

- ・ よき行政官たれ、よきエコノミストたれ、よき人間たれ(三東会)
- ・ ウォームハートとクールヘッド

2 最初の職場体験

- ・ 新人としての二年間の重み(物価狂乱の時代の物価行政)

5 二つの役所を経験するー中央省庁改革の前後

- ・ 二番目の職場(経済研究所国民所得部)
- ・ 人事ローテーションに乗る
- ・ 経済企画庁(二十六年)から内閣府(九年)
- ・ 新しい役所をつくる
- ・ 内閣府は発展途上
- ・ 事務次官になっても知らないことだらけ。

6 ステージごとに違う公務員人生

- ・ 見習いから課長補佐時代
- ・ 課長時代
- ・ 指定職時代

・ 福沢諭吉「学問のすすめ」（ちくま新書、齊藤孝 現代語訳）を勧める

7 ジェネラリストか専門家が

- ・ これからの公務員
- ・ 広い視野をもつ、懐を深くする
- ・ 一芸に秀でる、得意分野をもつとほかもうまくいく

8 他人から学ぶ

- ・ 役所は人材の宝庫、まず自分の省、ほかの省
- ・ 民間の人とつきあう
- ・ ネットワークで仕事をする

9 自分で学ぶ

- ・ 大学を出てからが勉強のはじまり